

大阪大学 東アジアセンター 国際開発セミナー シリーズ

アジア経済の展望とアジア開発銀行の役割

中尾武彦 アジア開発銀行総裁

グローバル社会の未来を、アジア開発銀行の
総裁と共に考えましょう。

日時：2016年5月24日（火）13:30～15:00

場所：大阪大学会館1階アセンブリーホール（豊中キャンパス）

開会の挨拶： 星野俊也 大阪大学 理事・副学長（グローバル連携担当）
第一部：講演 中尾武彦 アジア開発銀行総裁
第二部：対談 中尾武彦 アジア開発銀行総裁 & 大谷順子 東アジアセンター長

アジア開発銀行（ADB）の概要

ADBは1966年にマニラにて設立された国際開発金融機関で、67の国・地域が加盟しています。ADBは、2008年にその長期戦略枠組みである「ストラテジー2020」を策定し、「貧困の無いアジア・太平洋地域」というビジョンのもと、3つの中心戦略（すべての人々に恩恵が行き渡るインクルーシブな経済成長、環境に調和した持続可能な成長、地域統合の促進）に活動の重点を置いています。ADBは、アジア各国が策定した開発戦略に基づき、ADBの中期（3から5年）の国別支援戦略を立て、これに沿った形でプロジェクトやプログラムを策定し、その実施に必要な資金やナレッジの提供、政策対話の実施等を通じ開発途上国を支援しています。

中尾武彦（アジア開発銀行総裁）

兵庫県出身。1974年大阪教育大学附属池田高校卒業、1978年東京大学経済学部卒業、1982年カリフォルニア大学バークレー校にて経営学修士。
1978年大蔵省入省後、大阪国税局泉津税務署長、証券局、主税局、国際金融局の課長補佐などを歴任。1994年IMF（国際通貨基金）に出向。1997年大蔵省に復帰後、銀行局金融会社室長、財務省国際局国際機構課長、主計局主計官（外務・経済産業・経済協力担当）、国際局開発政策課長などを経て、2005年7月在米国大使館公使、2007年7月財務省国際局次長、2009年7月国際局長、2011年8月財務官。2013年4月よりアジア開発銀行総裁。
主な著書に『アメリカの経済政策』中公新書、2008年。2011-2012年、東京大学客員教授。

大谷順子（大阪大学副理事・大阪大学東アジアセンター長・人間科学研究科教授）

1995年世界銀行ワシントンDC本部、2001年世界保健機関（WHO）中国代表事務所（北京）およびジュネーブ本部勤務後、大学人に転身。主な著書に『国際保健政策からみた中国—政策実施の現場から』九州大学出版会、2007年。『人間の安全保障と中央アジア』（編）、花書院、2010年など。

本講演会は、公益財団法人村田学術振興財団 平成27-28年「グローバル化時代のアジアにおける国際キャリア形成に向けた高等教育の比較研究」（代表：大谷順子）の助成を受けて開催します。

* 無料ですが事前申し込みをお願いいたします。件名を「5月24日講演申し込み」とし、お名前、所属、学生は学年を明記してメールをお送りください。

大阪大学国際部国際企画課海外拠点係：kokusai-renkei-kyoten@office.osaka-u.ac.jp